

第24回参議院議員通常選挙の投票日に当たっての
福井県選挙管理委員会委員長談話

本日は、第24回参議院議員通常選挙の投票日です。

今回の選挙は、依然として厳しい社会経済情勢の中において、私達の暮らしや今後の国政のあり方を方向づける上で極めて重要な意義を持っています。

福井県選挙管理委員会は、この選挙の意義を深く認識し、県明るい選挙推進協議会や市町と一体となって、「ふるさとの 未来を決める 投票日」をキャッチフレーズに、投票への総参加ときれいな選挙の推進を目指して各種啓発活動を実施してきました。

特に、今回の選挙から、選挙権年齢が満18歳以上へ引き下げられたことから、県内の大学、短大、専門学校等での啓発チラシの配布や県内の学生が一堂に集う「ふくい学生祭」での啓発、18歳の若者による一日選挙管理委員や三国高等学校および仁愛女子高等学校の書道部による選挙啓発書道パフォーマンスのほか、投票所で記念撮影用写真フレームを入手できる投票記念アプリの開発・配布などを通して新有権者を含む若い有権者に重点を置いた啓発活動を行い、投票参加を積極的に呼びかけました。

また、今回の選挙から、選挙人が同伴して投票所に入ることができる子どもの範囲が、幼児から児童、生徒その他の18歳未満の者に拡大され、家族みんなで投票に行くことができるようになりました。

有権者の皆様におかれては、選挙の大切さを十分認識されて、一人でも多く投票に参加していただくとともに、良識に従い、自らの自由な意思と判断によって日本の将来を託するにふさわしい候補者および政党等に、あなたの大切な一票を投じられるよう心から期待します。

最後に、本日の投・開票事務に従事される市町選挙管理委員会の皆様におかれては、厳正かつ公平を旨として、細心の注意を払ってその管理執行に当たられるようお願いいたします。

平成28年7月10日

福井県選挙管理委員会
委員長 熊澤 喜八郎